

絹本着色両界曼荼羅図



指定区分	国指定重要文化財(絵画)
読みかた	けんぽんちやくしよくりょうがいまんだらず
所在地	美作市真神 長福寺
指定年月日	明治34年8月2日
解説	曼荼羅は、中心、輪、円または集団を意味するサンスクリット語で、これが転じて、輪円状に特定の仏、菩薩、明王、天の徳を図式化した絵をいう。両界曼荼羅は胎蔵界・金剛界の2幅から構成される。胎蔵界は感性的世界、金剛界は理知的世界をあらわす。この曼荼羅図は、画面の縦長化、明確な色感、諸尊の顔つきの均一的な表現からして、室町時代初期の作と考えられる。
アクセス方法	JR林野駅から車で約15分／中国自動車道美作ICから車で約20分
公開状況	本堂に実大パネル写真で公開〔問い合わせ先〕長福寺 0868-74-2026
設備	
備考	